



道政記者クラブ

旭川おとな食堂フードパントリー 食材や生活用品を無料配布

真下議員は13日、旭川市内で子ども食堂などを運営する19団体の「旭川おとな食堂」が市内6カ所で開催したフードパントリー（食材配布）に参加しました。



配布場所の一つとなった慶誠寺には始まる前から何人も待つていました。

長引くコロナ禍の厳しい生活の助けになればと、お米やレトルト食品、生活用品が無料配布された6会場に、子育て中の家族や大学生、子どもたちなど、約300人が訪れました。

「こんなに沢山」「年金暮らして助かる」「買物を控えているので助かる」など、どの世代の人からも、たいへん喜ばれました。

配布品の中に生理用品もあり、真下議員が声をかけると「助かります」と言われ、必需品としての大切さが実感されました。

最低賃金の大幅な引き上げを

6月2日、日本共産党道議団は、畠山和也前衆議、札幌市議団とともに、最低賃金の大幅な引き上げと全国一律制度を求めて、北海道労働局へ要請しました。道議団からは菊地葉子・宮川潤の両道議が参加しました。



北海道は昨年1円も上がらず時給861円のまま。「生計費」は全国どこでも変わらないことが、全労連などの調査・試算で明らかになっています。最低賃金を全国一律制度にすることは、格差の縮小と地方での就業を後押しすることにもつながります。

要請に対して、労働局側は「年収の低さや、非正規雇用に女性が多いなどの認識は同じ。『働き方改革』の大きな柱は最低賃金のこと」とのべ、審議会や本省へ「確実に報告します」と答えました。

過剰な管理教育浮き彫り

共産党道議団が校則実態調査

常識からみておかしい校則や生徒心得など「ブラック校則」が社会問題化するもとで、日本共産党道議団は、6月16日、道教委に資料請求していた191道立高校の（全日制）の校則の調査結果を発表し、見直し議論の促進を呼びかけました。

真下紀子団長は、文科省の「校則の見直し等に関する取組事例について」で、校則が教育目的を達成するために必要かつ

合理的範囲内で制定されるものであり、絶えず積極的に見直すことが求められていると指摘。何よりも学校の主役の生徒の意見、保護者や地域の声もしっかりと踏まえる必要があると強調し、校則の改善の契機となるよう発表したと説明しました。

全日制191校のうち、9割の179校で頭髪に関する規定があり、巻き毛やツーブロックの禁止が目立ちます。8校では髪の色を証明を求め、美容室のカラーサンプルを基準にしている高校もありました。

性的少数者への配慮から、性

別に関係なくスラックスやスカートを自由に選べる制度を導入する中学・高校が全国的に徐々に増えているなか、半数近い85校は自由に選択できず、88校は女子のみ選択可能としています。「服装・頭髪の乱れは生活の乱れを招きやすく・・・だらしない印象が高校の評価を失墜させる」「癖毛や髪の色が茶色いものは癖毛届で判断する」と必要以上の管理教育を押し付けている校則が明らかになりました。

文部科学省も6月8日、全国の教育委員会に合理性のない校則の見直しなどを求める通知を出しています。

真下議員は「すべての子どもを尊重する教育の視点で高校生と学校関係者、保護者が意見を重ね、校則の改善に取り組んでいく必要があります」と呼びかけました。

路線維持し 北海道の発展のために貢献を！

「新幹線頼み」見直せ JR社長らを追及

JR北海道の2020年度決算は、コロナ禍で減収が拡大し、805億円と過去最大の赤字となりました。北海道新幹線の新青森―新函館間の赤字は144億円と過去最大、線区別でも最大の赤字です。9日、道議会の地方路線問題調査特別委員会は、JR北海道の島田修社長らを参考人招致し、日本共産党から真下紀子議員が質問しました。路線維持の責務を果たすよう求め、経営改善の根拠をたどりました。

真下議員は、留萌本線の通学列車減便を例示し、「JR北海道が地域の実態も把握せず、地域住民が必要とする公共交通事業を維持する努力を怠り、廃線ありきの姿勢が改めて浮き彫りになった」と批判。

国会で国土交通相が「できるだけ路線は守られるように」という地元の思いに応える」と表明し、国会は全会一致で3年間に1302億円の巨費投入を決定しています。「経営安定基金の下支えもされたが、路線存続を本気で考えているのか」と迫りました。

総貫泰之副社長は、「経営困難」とJR北海道が主張する「赤線区」は「鉄道よりバスの方が利便性が高い」と廃線ありきの姿勢を露骨に繰り返しました。



“ニーズある”と強調

その一方で、北海道新幹線の札幌延伸に伴う乗客数と収支改善金額、航空機との関係を問うと、渡利千春常務は「札幌開業には大きなニーズがある」と主張。「東京と新千歳間の飛行機の乗客数は3万人。乗り換えなしで移動できるメリットで相当数の利用がある」として、2012年の資料を持ち出し、「1日あたり乗客数は1万5400人、500億円の収支改善を見込んでいる」と強弁しました。



コロナ禍で、乗客増が見込めず、新幹線の座席に宅配便を載せている現状すら無視しています。真下議員は、「投資規模も、返済計画も示していない札幌駅周辺再開発事業を優先するのではなく、公共交通事業者として鉄路存続に向けて、鉄道事業の必要性と維持・存続への毅然とした意思を表明するべき」と求めました。

真下議員は、「投資規模も、返済計画も示していない札幌駅周辺再開発事業を優先するのではなく、公共交通事業者として鉄路存続に向けて、鉄道事業の必要性と維持・存続への毅然とした意思を表明するべき」と求めました。

維持存続に触れず

島田修社長は「広大なエリア、積雪寒冷という特殊性の中でコロナなど課題は山積。基幹的公共交通機関としての使命を果たしてほしいとの思いと期待を込めて支援を実施してもらった」と国の支援を評価。「有効に活用しながら、10年かかるが、安全で健全な経営を実現することで期待される基幹的公共交通機関として鉄道事業の基盤強化、輸送サービス改善にとりくむ」と言いつつも、公共交通網の維持存続にはまったく触れませんでした。

真下議員は「北海道の鉄道事業は、赤字になることは初めからわかっていて、国の支援を受けて鉄道事業を継続することが最も重要な責任だった。それを常に肝に銘じてもらいたい」と、重ねて強調しました。

機関車暴走を社長陳謝

7日深夜、函館本線で保線作業用車両のブレーキが利かず、制御不能になって、7人も暴走した重大事故が発生しました。島田社長は陳謝したものの、13年の石勝線列車脱線火災事故以降、安全対策を取ってきたと釈明しました。

真下議員は、石勝線事故の検証過程で部品を紛失した事実を指摘。今度こそ徹底説明と再発防止を訴えました。



道議会 31期後期の構成

15日、第2回定例道議会が開会し、31期後期（今後2年間）の議長・副議長と委員会構成が決まりました。

議長・副議長

議長 小畑 保則（自民・道民会議）

副議長 市橋 修治（民主・道民連合）

日本共産党道議団の委員会所属

常任委員会

保健福祉委員会 真下 紀子

総合政策委員会 菊地 葉子

文教委員会 宮川 潤

議会運営委員会

（オブザーバー） 菊地 葉子

特別委員会

食と観光対策特別委員会 真下 紀子

地方路線問題調査特別委員会 真下 紀子

産炭地域振興・エネルギー

問題調査特別委員会 菊地 葉子

少子・高齢社会対策特別委員会 宮川 潤

協議会等

広報委員会 宮川 潤

議員定数等検討協議会 菊地 葉子

宮川 潤

日本共産党
道議団

団 長 真下 紀子

幹 事 長 菊地 葉子

政策審議 宮川 潤